

2013(平成25)年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものである。
2013(平成25)年度は、塾長賞に1件1名、塾長奨励賞に2件2名が選ばれ、3月の学部卒業式において表彰された。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長

学生総合センター長・文学部教授

伊東裕司いとうゆうじ

慶應義塾では、正課の学業のみではなく、体育活動、芸術・文化活動、社会活動などの幅広い活動を通して多様な人間を育てるという教育理念に基づき、課外活動を推奨してきており、毎年多くの塾生諸君が課外活動において際立った成果を上げる活躍をしています。このような活動を顕彰するために、慶應義塾ではいくつかの賞を設け、優れた成果を上げた課外活動を表彰しています。それらの賞の中で、体育活動以外の課外活動を対象とするものが、塾長賞・塾長奨励賞です。学術・芸術・社会活動・文化活動などにおいて学生の範となる活躍をし、「当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾の存在自体の光輝となる」塾生(大学生・大学院生)を表彰するものです。2013(平成25)年度は、12件の推薦が得られ、

慎重な選考の結果、1件1名の塾生が塾長賞、2件2名の塾生が塾長奨励賞の荣誉に輝きました。表彰は、去る3月24日に行われた2013(平成25)年度大学学部卒業式においてなされ、清家篤塾長から受賞者の代表に表彰状が手渡されました。
私は、塾長賞・塾長奨励賞の選考に長く関わっていますが、いつも塾生諸君がさまざまな領域で素晴らしい活躍をされていることに感心するとともに喜びを感じています。自分の専門とする領域の勉学のみではなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れた成果を上げることが、人間としての幅を大きく広げ、これからの人生をより豊かなものにするでしょう。受賞者に続いて、多くの塾生諸君がさまざまな領域で活躍されることを期待します。



塾長賞

■第82回日本音楽コンクール・バイオリン部門 第1位ならびに増沢賞を受賞

法学部2年
大江 馨君
おおえ かおる



第82回日本音楽コンクール・バイオリン部門において第1位を獲得した。さらに、全部門の中で最も印象的な演奏に対して贈られる「増沢賞」を受賞した。同君は慶應義塾高等学校を卒業後、法学部政治学科に入学すると同時に桐朋学園大学音楽学部のソリスト・ディプロマ・コースにも在籍し、学業と音楽の両立に努め、見事に実現している。「多くの人にクラシック音楽の魅力を伝えたい」という思いがあり、また、塾生としてのアイデンティティーを持ち、塾内音楽団体との交流を大切にしながら活動していることは高く評価でき、慶應義塾の誇りとするところである。

塾長奨励賞

■コンゴ民主共和国においてアルティメットの普及に尽力

環境情報学部4年
大川 晴君
おおかわ はる



コンゴ民主共和国において、フライングディスク（フリスビー）競技の一種目であるアルティメットの普及活動を行い、その活動が受け入れられ、同国ナショナルチームの代表監督に就任した。また、アルティメットの競技性を通じて平和構築を目指すなど、同君の活動はユニークかつ社会貢献度が高く、慶應義塾の誇りとするところである。

■「第37回全国学生書写書道展」特別名誉大賞受賞

看護医療学部4年
小林 優一君
こばやし ゆういち



一般社団法人全国書写書道教育振興会主催の「第37回全国学生書写書道展」において2年連続で学年1位を受賞した際に贈られる「特別名誉大賞」を受賞した。同君は2011年度にも塾長奨励賞を受賞し、継続して鍛錬を続けた功績は、慶應義塾の誇りとするところである。

※学年はいずれも受賞時